



編集・発行

夙川地域

コミュニティ協議会

わたしと夙川

吉村 牧子さん（霞町）

夙川に暮らして

私が結婚を機にこの地へ来て、もう半世紀近くがたとうとしています。

その頃、夙川グリーンタウンはすでに存在しましたが、駅側には阪急夙川ビルという駅ビルもあり、最上階には中華料理店がありました。山手幹線はもちろん通っておらず、どこも細く曲がった道でつながっていたような記憶があります。

子どもが育ち、幼稚園、小学校と地元で通い始めるとお母さん仲間が増え、役員などを引き受けることが多くなりました。PTAの役員になると自動的に地域の団体にも所属することになり、そこから私のボランティア活動が始まりました。



ふれあい食事会のひな祭りメニュー

夙川地区青少年愛護協議会や社会福祉協議会などで子どもからお年寄りまで接することになり、一気に地域の中で知り合いが増えました。現在は、社協活動のうち「ふれあい食事会」「ふれあい喫茶・夙」などを担当しています。

お年寄りが家にこもらず、地域に出てきて集える場所を提供し、そこでお友達と出会うおしゃべりを楽しんだり、また新しいお友達を誘ってきただけだったりするのを見ると、微力ながらも、そのお手伝いができていることを本当にうれしく思います。

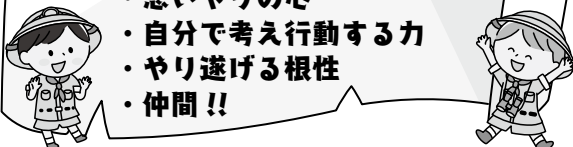
これからも夙川が、誰にとっても住みよい街であり続け、私もそこで楽しく暮らしていけたらと願っています。



ボーイスカウトで

手に入るかもしれないもの

- ・思いやりの心
- ・自分で考え行動する力
- ・やり遂げる根性
- ・仲間!!



私たちは、夙川公民館を拠点に、年代ごとの「隊」というグループに分かれて活動しています。そのフィールドはアウトドアです。



六甲山頂を目指したハイキングや飯ごう炊さんなどを行います。冬に1泊、春に2泊、夏に5泊の舎営があり、夏は長野の拠点施設であるかやぶき屋根の古民家に泊まります。月2回で、丸1日の活動です。



屋外で元気に活動します



カブ隊が泊まる古民家

メンバーは年長〜小1です。夙川の中を歩くりバーウオークや山の中の秘密基地づくり、公民館でのケーキ作り、社会見学もあります。春と夏に1泊2日のお泊り会もあります。活動頻度は月2回、主に半日です。

ビーバー隊

カブ隊(小2〜小4)



飯ごう炊さんは火加減が重要

ボーイ隊(小5〜中2)

夏休みに、電気もガスもない山の中で10泊11日のキャンプをします。最初は長距離を歩けなかった子も徐々に歩けるようになり、できることが増えていきます。班に分かれて行う活動はそれぞれの個性が発揮でき、「方向感覚が良い」「料理がうま

い「みんなを盛り上げるのが得意」など、子どもたちの自信も増していきます。

大自然の中では、雨が降ったり寒かったりと、思いどころにはならないこともありま

す。その中で、工夫することの大切さや仲間を頼り、助け合うことを学びます。募金や公園清掃などの奉仕活動、国際交流も盛んで、アウトドアに限らず、子どもたちの視野を広げることができます。

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

人間力を大きく育てるのが、ボーイスカウトの目標です。夙川小学校と大社小学校校区の男の子なら、誰でも入ることができます。まずは、気軽に見学に来てください。



ボーイ隊の活動は山の中

ご連絡はこちらから
<https://shukugawa-scout.net>



夙川の中をザブザブ歩きます

楽しく学ぶ
 夙川公民館
 地域学習推進員会の
 講座

松永K三蔵講演会

市内在住の芥川賞作家・松永K三蔵さんの講演会が、昨年12月7日にホールで行われ、160人が詰めかけました。

演題は「オモロイ純文運動・地元編」。松永さんは「純文学は世界と人間を描く」とした上で、受賞作の『バリ山行』に触れて、「人は社会と自分との対立構造の中を生きている。主人公は山に入ると、『私とは？』『ルールの本質は？』と、自分に向き合うことに気付いていく」と語っていました。

認知症マップ編み物教室

認知症の人の不安を和らげるとされる「認知症マップ」の編み物教室が、昨年12月14日にニット作家の能勢マユミさんを講師に迎えて開かれ、患者家族、編み物愛好家、医療・介護関係者ら約20人が参加しました。

能勢さんは「マップはコミュニケーションツール。相手を考えて作ることが大切」と話していました。

新春ジャズコンサート

関西ジャズ界の第一線で活躍するジャズメンの演奏会が、1月11日にホールで開催されました。

岩佐康彦さん(ピアノ)、中島教秀さん(ベース)、武井努さん(サクソフ)の3人によるトリオ演奏で、セロニアス・モンクやソニー・ロリンズらジャズミュージシャン自らが作った曲を次々と披露しました。アドリブ満載の演奏に、満席の会場から拍手が送られていました。

防災講座

防災講座が1月23日、市・防災危機管理課から職員2人を招いて開かれ、地域住民約20人が参加しました。

今回は、被災時に切実な問題となるトイレと睡眠に焦点を当てました。参加者は、排せつ物を固める凝固剤の威力を実際に確認した後、段ボールベッドの組み立てを体験。数

分で出来る上がると、横になつて寝心地を確かめていました。

体操教室「椅子カキラ」

椅子を使った簡単なエクササイズで体が楽になる「椅子カキラ」講座が、2月27日に開かれ、20人が参加しました。

講師は、THDJapan公認認定カキリストの金子さつきさん。肩甲骨を動かせば背骨のずれが矯正されるとのこと。

参加者は、金子さんの掛けた声に合わせて手を突き出したり、上げたり、手の平を返したり、体の動きを何度も繰り返し行っていました。

フルート&ハープの演奏会

フルート&ハープの演奏会が、3月14日にホールで開かれました。今田聡美さん(フルート)と上田あづ紗さん(ハープ)が、春を感じさせる名曲を披露。伸びやかなフルートの音とハープの優雅な調べが醸し出す音空間に、130人の聴衆は浸っていました。

普段目にするこのないうハープだけに、休憩時間には多くの人がハープを囲み、スマホで撮影していました。

5・6月の講座のお知らせ

夙川寄席

出演 笑福亭純瓶・笑福亭瓶生
 5月24日(日)14:00~15:30
 公民館ホール 定員190人 当日先着順
 共催 夙川自治会

グリーンケア講座

講師 河合真美江(元朝日新聞記者)
 赤田ちづる(関西学院大学客員研究員)
 6月6日(土)13:00~15:00 第2集会室
 定員40人 申し込み 5月18日(月)~
 電話または窓口で 9:00~16:45

浴衣 着付け教室

講師 山下みき子(着付け講師)
 6月7日(日)14:00~16:00 2階和室
 定員14人 申し込み 5月20日(水)~
 電話または窓口で 9:00~16:45
 *浴衣・帯などは持参



地域学習推進員会による講座は、一部で材料費の負担はありますが、受講料、参加費無料です。
 詳しい内容は回覧、掲示ポスター、西宮市HP(公民館イベント)をご覧ください。内容、日程が変更になる場合があります。事前にご確認ください。
 問い合わせ 夙川公民館 Tel 0798-33-1928

今年も咲きました 高塚公園のロウバイ



ロウバイの花言葉の一つは「慈愛」です

高塚町にある高塚公園で、シンボルとなっているロウバイの花がきれいに咲きました。寒さと暖かさが交じる中、春の風を受けて香る甘い香りと美しい黄色の花が、訪れる人の鼻と目を楽しませていました。
 子どもと公園に遊びに来ていた親子は、ロウバイに何度も顔を近づけ、「わあ、いい香り」と、花に負けないうらすてきな笑顔を見せていました。

みんな知ってる？

夙川小学校のマンホールトイレ

夙川小学校グラウンドの西側に、小さなマンホールが10基並んでいるのを知っていますか？

これらは、下水道管と直接つながる「マンホールトイレ」と呼ばれるもので、上に折り畳み式の便座と簡易テントなどの間仕切りを設けることで災害時に迅速にトイレ機能を確保できる防災設備です。

排水に使用する水源は、夙川小学校では井戸水で、グラウンドの北西角にトイレ用ポンプが設置されています。マンホールトイレは、仮設トイレなどと比較して設置が簡単で、臭いも少なく、衛生的。夙川小学校をはじめ、市内指定避難所23カ所で整備されています(令和7年3月31日現在)。

夙川小学校では、4年生の社会科の授業でマンホールトイレなど校内の防災設備を探し、その役割を学んでいます。防災担当の横丁八重子先生

楽しく遊ぶ 夙川地区青少年愛護協議会の行事

理科ちゃんの実験教室

「理科ちゃんの実験教室」が、2月28日に夙川小学校で開催され、1・2年生と3・6年生に分かれて行いました。色を付けた洗濯のりに「魔法の水」を加え、混ぜて作る



先生の話聞く子どもたち



10基のマンホールトイレと、トイレ用ポンプ

は「被災したときに、自らの命を守るために正しい判断ができるよう、普段から防災について考え、万が一に備えておくことが大切です」と話しました。

スライムなど三つの実験をしました。

毎年人気のこの行事。夙川小学校の先生4人が、子どもたちの「なぜ？」を楽しく引き出していました。

七輪体験

5・6年生を対象とした「七輪体験」が、3月7日に夙川小学校で行われました。

七輪と炭、マッチ、新聞紙、枯れ枝などで火おこしに挑戦です。なかなか炭に火が付かず「もう無理やん」とつぶやきながらも、うちわであおいだり、炭の位置を変えたりしてがんばりました。

火をおこした後は、餅やマシユマロ、トウモロコシなどを焼いて食べました。



炭火焼きは最高です

地域の公園紹介

その6 深谷公園

お散歩に行きませんか？

深谷公園は、雲井橋通り沿いの住宅地の中に位置し、北に向かって緩く下がっていく坂道に面しています。近隣には保育所や幼稚園が複数あり、夙川小学校の校区内でもあることから、午後や週末にはたくさんのお子どもたちでにぎわいます。

令和6年3月に、約半年にわたるリニューアル期間を終えて再オープンしました。公園のシンボルだった石山の遊具は改修され、幼児向けの砂場エリアにはハウス型の遊具を新設。かわいい遊具も設置されました。

また、北側には健康遊

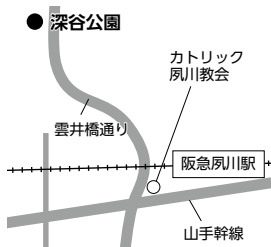


「ハナモモの公園」でもあります



カラフルなカエルのシーソー

具エリアができ、公園の中心部にはテーブルやベンチを備えた日陰棚つきの休憩エリアもつくられ、大人たちにも利用しやすい公園になりました。地域にとって大切な憩いの場になっています。



お知らせ
次回7・8月号から諸事情により、夙川地域版は1年間休みます。夙川地域コミュニティ協議会